

H23 2011年

長月号
9月4日

右馬元たよ里

台風12号は その動きが 自転車並みとかな。奈良県や和歌山県に甚大な被害を及ぼしながら 日本海にぬけていきつづけます。右馬元のお客様もこれの影響で中央道が寸断され 来ることも出来なくなり 私たちもお客様となく 草取りも出来ず三日間 降る雨を眺めながら たの息をついたりのんびりしたり... 大層はあまり恐いこともなく至って静かではあります。こんな中大厨では 日赤奉仕団の 災害時の炊き出し訓練や 消防団の炊事訓練と合同でありまして 3月11日の地震と今回の台風の 恐ろしい映像を生々しくみてありました。参加人数も多く 真剣に1人1人学習しました。消防団員30名(村長・幸資を含む)と奉仕団65名分のおにぎり(米1斗)、みそ汁、きゅうりの漬物を作り 試食。漬物はおいしく出来たと みそ汁は少々薄味でした。おにぎりは塩をつけて握るのではなく 塩を1升につき30g入れて炊き込み 湯呑み茶碗一杯の飯に 梅干し1つ入れ サラシラップにありて 四方をつまみあげクルクルとつぼめて2ヶずつ(消防団員は3ヶ) 新聞紙の上を正方形にして 藁包みで包むというものでした。非常時に持ち出すものをあらかじめ用意して置きましようとか 非常時の食品の備蓄を完璧にとか、改めて心に届くこともあり 貴重な半日を 今日 9月4日 過ごさせてもらいました。

今年 幕末維新期の女性勤王志士 松尾多勢子(文化8年=1811) 生誕200年と子守節目の年であることは たよ里の22/3にて紹介したとおりですが 松尾多勢子様 文久2年(1863) 8月3/4 52才で上洛した半日(梨子野峠) 体験してみました。9月1日のことです。雨のいまにも降り出しそうなる(車で移動する際)は 一時すこい雨降りとなりおたまたま、幸い歩行時には雨はなくお陰な行程でした。8月3/4日のその日は雨模様の日だったので。山本のご実家の墓参りは省略させていたりました。産土神七又里神社(禪刹)で有名)に参拝。

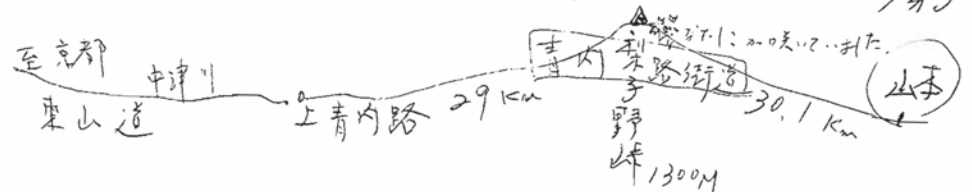
千早振神に祈りて 旅ごころも

帰り来ん日を 契りつつゆく -多勢子-

浄玄寺の住職に道を教えてもらい 出発。多勢子様の旅路は如何なるものであつたのか 同行人は何人たつたのだろうか 思いを巡らせながら 登り登りつめること1時間 梨子野峠に到着です。眼下に山本村。全神温泉郷を見下しながら 故郷と別れを惜しんだであろう彼の 遠くおはあ様を身近かに感じつつ。

旅衣、ふりかへれとも秋霧の

立ち上つた 故郷の空 -多勢子-



偉大の故人を偲んでの 山歩きも また いいものでした。おはあ様の歩かれた道をとおりながら 京都まで新しい目標も出来ました。